会 議 録

会議の名称	令和6年度第4回 本庄市交通政策協議会							
開催日時	令和6年11月1日（金）	<table style="display: inline-table; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午前</td> <td>・午後</td> <td>10時00分から</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午前</td> <td>・午後</td> <td>11時00分まで</td> </tr> </table>	午前	・午後	10時00分から	午前	・午後	11時00分まで
午前	・午後	10時00分から						
午前	・午後	11時00分まで						
開催場所	本庄市役所 大会議室							
出席者	区 分	職 名	氏 名					
	13号委員	早稲田大学 教授	佐々木 邦明					
	1号委員	本庄市都市整備部長	齊藤 順一					
	2号委員	朝日自動車（株）運輸部長	田沼 健一					
		十王自動車（株）代表取締役 社長	石倉 実希雄					
		一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	関根 肇					
	3号委員	本庄観光（株）事業部長	加藤 直樹（代理）					
	4号委員	本庄地区タクシー協議会 会長	神宮 つぐよ					
		一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 事務局長	藤田 貢					
	6号委員	本庄商工会議所 専務理事	田中 一成					
		児玉商工会 副会長	宮部 孝夫					
	7号委員	本庄警察署交通課 課長	荻原 正幸					
	8号委員	児玉警察署交通課 課長	坂本 悠人					
	9号委員	埼玉県企画財政部交通政策課 主幹	村上 晶彦					
	10号委員	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 首席運輸企画専門官	高木 純子					
	11号委員	国土交通省関東地方整備局建政部 都市調整官	原田 英之					
	12号委員	国土交通省大宮国道事務所 副所長	本住 武司（代理）					
埼玉県本庄県土整備事務所 道路部長		栗原 龍一						
13号委員	本庄市議会 議員	林 富司						
事務局：長嶋都市整備部次長、武正都市計画課長、山田課長補佐、 菊池主査、廣川主事補、狩野主事補								
欠席者	区 分	職 名	氏 名					
	3号委員	協同貨物自動車（株）代表取締役	浅見 禄郎					
	5号委員	朝日自動車労働組合 執行委員長	飯塚 光弘					
	6号委員	西今井自治会長	町田 純一					
		本庄市老人クラブ連合会 副会長	柳田 信					
		本庄市身体障害者福祉会 会長	種村 朋文					

議 題 (次 第)	1. 開 会 2. 挨拶 3. 報告事項 (1) 運行事業者の選定結果について 4. 議 事 (1) 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の変更申請（地域内フィーダー系統）について (2) 今後のスケジュール及び運行にあたって協議・合意が必要な事項 (3) 令和6年度地域内フィーダー系統補助金交付申請について 5. 閉 会
配 付 資 料	令和6年度第4回 本庄市交通政策協議会 資料一式 参考資料「令和5年度地域内フィーダー系統補助金交付申請に係る提出資料について」 令和6年度第2回本庄市交通政策協議会会議録
その他特記事項	
主 管 課	都市計画課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (都市計画課長)	<p>定刻になりましたので、会議を始めさせていただきます。</p> <p>当協議会につきましては、本庄市交通政策協議会設置要綱第6条第5項により、原則として公開により開催することになっております。</p> <p>本日の協議会開催につきまして、市のホームページで傍聴の御案内をしたところ、1名の希望者がいらっしゃいました。</p> <p>ここで、傍聴人の方に傍聴上の注意を申し上げます。事務局より事前にお配りしました「傍聴上の注意」を遵守していただきますようお願いいたします。なお、「傍聴上の注意」に反する場合には、退場していただく場合がございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、会議録につきましては、発言者の氏名を記載してホームページで公表いたしますので、御了承ください。</p> <p>皆さまにはお忙しい中、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます都市整備部都市計画課長の武正と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>これより令和6年度第4回本庄市交通政策協議会を開催いたします。</p>
事務局 (都市計画課長)	はじめに事務局から会議の成立についての御報告と、配布資料の確認をさせていただきます。

事務局 (菊池主査)	<p>設置要綱第6条第2項に「会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。」と規定しております。</p> <p>本日、出席しております委員は、23名中18名であります。</p> <p>よって、本会議が成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>また、お手元に本日の次第が表紙となっております資料一式、参考資料、「令和6年度第2回本庄市交通政策協議会会議録」の3種類を配布してございます。資料に過不足や落丁・乱丁等ございましたら、事務局までお申しつけください。</p>
事務局 (都市計画課長)	<p>皆さま資料はお揃いでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、資料の表紙にございます次第に従いまして、進めさせていただきます。設置要綱第6条第1項の規定によりまして、本会議の議長は、会長が務めることとされておりますので、佐々木会長に御挨拶と今後の進行をお願いいたします。</p>
佐々木会長	(挨拶省略)
議長	<p>会議の運営がスムーズにいきますよう御協力をよろしくをお願いいたします。</p> <p>本日は、報告事項が1件、そして議事が3件ございます。</p> <p>まず、次第の3「報告事項」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (廣川主事補)	《報告事項(1) 運行事業者の選定結果について》説明
議長	<p>ただいまの事務局の説明に対して御意見等ありますか。</p> <p>御質問が無いようですので、報告事項につきましては終了いたします。</p>
議長	<p>《議事(1)》</p> <p>それでは、これより次第の4「議事」に入らせていただきます。</p> <p>議事(1)「令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の変更申請(地域内フィーダー系統)」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>議事(1)「令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の変更申請(地域内フィーダー系統)について」御説明いたします。</p> <p>4ページ右上に「資料2」と記載しております資料をご覧ください。</p> <p>こちらは、令和6年度第1回本庄市交通政策協議会において、御承認をいただき、令和6年9月25日付けで国土交通大臣より認定されました「令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画」を変更するものでございます。なお、ここでいう令和7年度の運行期間は、令和6年10月1日から令和7年9月30日までの1年間を指し、既に運行期間が開始しているものでございます。</p> <p>続いて、変更理由についてでございますが、令和7年3月1日からデマンドバスの運行区域を従来の本庄北・本庄南地域を統合した「本庄地域」と児玉市街地・児玉山間地域を統合した「児玉地域」の2つの区域に変更するためでございます。</p>

変更日につきましては、令和7年3月1日としております。

なお、今回の変更につきましては、令和7年3月1日から、現行の運行事業者様のまま運行区域のみを変更するものと、令和7年4月1日から、変更後の運行区域において、運行事業者様及び運行時間を変更するものの2段階で変更するものです。令和7年4月変更分につきましては、22ページ以降のところまで改めて御説明いたします。

続いて、変更箇所につきましては、この後順に御説明いたします。

6ページをご覧ください。右上の日付に今回の計画について協議を行った日付として本日の日付を追記するものでございます。

続いて、7ページ及び8ページにつきまして変更はございません。

続いて、9ページをご覧ください。「18. 協議会の開催状況と主な議論」に令和7年3月変更分について協議を行った旨を追記するものでございます。

続いて、10ページから12ページまでにつきましては、「本庄市地域公共交通計画別紙」に添付している本庄市地域公共交通計画（本編）の該当ページのうち、変更になる箇所を赤字で追記したものでございます。いずれも運行区域が4つから2つに変更になることに伴う変更でございます。

続いて、14ページをご覧ください。こちらは、運行システムの概要及び運行予定者を記載した表になります。15ページの変更後の表をご覧くださいますと、デマンドバスの運行区域が4つから2つに変更になることに伴い、「運行系統名」、営業区域を記載する「経由地」、「計画運行回数」、「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」が変更になるものでございます。このうち、計画運行回数につきましては、変更前の「本庄北地域デマンド」及び「本庄南地域デマンド」の計画運行回数の合計を変更後の「本庄地域デマンド」の計画運行回数として設定したものでございます。同様に、変更後の「児玉地域デマンド」の計画運行回数につきましては、変更前の「児玉市街地デマンド」及び「児玉山間地域デマンド」の計画運行回数の合計を計画運行回数として設定したものでございます。

続いて、16ページ及び17ページの運行エリアにつきましても、18ページの添付図面のとおり、運行区域が4つから2つに変更になり、本庄早稲田駅北口が本庄地域と児玉地域の共通乗降ポイントになるものでございます。

続いて、20ページ及び21ページの運行ダイヤにつきましては、今回運行ダイヤの変更はございません。ただし、「児玉市街地」及び「児玉山間地域」が「児玉地域」に統一されたことに伴い、名称も「はにぼん号」に統一したことから変更があるものでございます。

続いて、22ページをご覧ください。

こちらにつきましては、変更理由にありますとおり、令和7年4月1日から、デマンドバスの運行事業者様及び運行時間が増えることに伴う変更でございます。

変更日につきましては、令和7年4月1日としております。

続いて、変更箇所につきましては、この後順に御説明いたします。

	<p>24ページをご覧ください。右上の日付に今回の計画について協議を行った日付として本日の日付を追記するものでございます。</p> <p>続いて、25ページ及び26ページにつきまして変更はございません。</p> <p>続いて、27ページをご覧ください。「18. 協議会の開催状況と主な議論」に令和7年4月変更分について協議を行った旨を追記するものでございます。</p> <p>続いて、28ページをご覧ください。こちらは、運行系統の概要及び運行予定者を記載した表になります。29ページの変更後の表をご覧くださいますと、運行事業者様に変更になることに伴い、「運送予定者名」も変更になるものでございます。また、「計画運行回数」につきましては、この後御説明いたします運行時間に係る諸条件の変更に伴う変更でございます。なお、「計画運行日数」につきましては、本庄地域・児玉地域の「標準運行型」では、日曜日の実証実験を8日間行うこととしていますが、実証実験の日数は含めないこととされていることから、計画運行日数の変更はございません。</p> <p>続いて、30ページ及び31ページの運行ダイヤにつきましては、令和7年4月から、本庄地域・児玉地域にそれぞれ1台ずつ「延長運行型」という運行時間が午前8時から午後6時までとし、終わりの時間を1時間延長する運行形態を導入することに伴い、本庄地域の計画運行回数は増加しておりますが、一方で、「働き方改革」の観点から、これまで運行時間の前後に実施していた児玉中学校の通学用バスとしての運用を取りやめること等これまで加算していた計画運行回数を削ったため、児玉地域の計画運行回数は減少しております。来年度以降の計画運行回数につきましては、利用者数の推移等を見ながら検討して参ります。</p> <p>以上が、議事(1)「令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の変更申請(地域内フィーダー系統)について」でございます。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。ただいまの内容について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。</p> <p>特に御質問、御意見が無いようですので、議事(1)については、決することに御異議ございませんか。</p>
全委員	(異議なし)
議 長	<p>議事(1)については、異議なしと認め、原案のとおり承認されました。</p> <p>それでは、続きまして、議事(2)「今後のスケジュール及び運行にあたって協議・合意が必要な事項」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>議事(2)「今後のスケジュール及び運行にあたって協議・合意が必要な事項について」御説明いたします。</p> <p>32ページ右上に「資料3」と記載しております資料をご覧ください。</p> <p>こちらは、既に令和6年度第1回・第2回本庄市交通政策協議会において、御承認をいただいているところではございますが、改めての確認と一</p>

部変更がございましたので、改めて委員の皆さまにお諮りするものでございます。

8月9日に開催いたしました令和6年度第2回本庄市交通政策協議会において、運行事業者様の選定を市の契約に関する事務の例により、本庄市交通政策協議会において行うことにつきまして、御承認をいただきました。

その後、同協議会事務局において、9月19日及び同月30日に運行事業者様の選定を行い、契約を締結しようとしたところ、収入印紙代が必要なことが判明したことから、令和6年度第3回本庄市交通政策協議会を書面にて開催させていただき、令和6年度歳入歳出予算の変更をさせていただいたところでございます。書面での協議が整った後、デマンドバス及びシャトルバスの運行事業者様との契約を締結しましたので、運行事業者の報告をさせていただいたところでございます。

また、運行事業者様の選定により、運行事業者様が決定したことから、当初、令和7年1月開催予定の本庄市交通政策協議会の議事とする予定でした「地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の変更」を本日の議事（1）で委員の皆さまにお諮りをさせていただいたものです。

今後のスケジュールとしましては、新規運行事業者様には一般乗合旅客自動車運送事業の許可申請書類を11月下旬までには作成していただき、12月上旬までには一般乗合旅客自動車運送事業の許可申請、令和7年3月上旬までに許可を取得していただく予定です。

なお、本庄市交通政策協議会につきましては、今年度にあと1回開催することを予定しております。そこでは、例年の事業評価を実施する予定でございます。

以上が「今後のスケジュール」についてでございます。

続いて、33ページをご覧ください。

2「運行にあたって協議・合意が必要な事項」について御説明いたします。

「乗継割引」につきましては、運賃等に関する事項のため、本協議会ではなく、運賃協議分科会で協議を行う事項となりますが、デマンドバスとシャトルバスとの乗り継ぎ利用やデマンドバスと路線バスとの乗り継ぎ利用の促進のため、乗継券の制度を継続したいと考えております。なお、乗継券については、現行と同等のものを使用したいと考えております。

続いて、「回数乗車券料金」につきましても、運賃等に関する事項のため、本協議会ではなく、運賃協議分科会で協議を行う事項となりますが、頻繁に利用する方には利用されていることから、回数乗車券の制度を継続したいと考えております。なお、回数乗車券については、現行と同等のものを使用したいと考えております。

続いて、34ページをご覧ください。

34ページから37ページまでは、現行のデマンドバス及びシャトルバスのラッピングになります。本市では、平成25年10月からデマンドバス及びシャトルバスを運行しており、そのデザイン及び名称が定着していることから、現行のデザインと同等のものを使用したいと考えております。

以上が、議事（2）「今後のスケジュール及び運行にあたって協議・合

	意が必要な事項について」でございます。
議 長	ありがとうございました。ただいまの内容について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。
本住委員	33ページの回数乗車券は、「朝日自動車(株)・本庄観光(株) 発行」と記載がありますが、今後、事業者が変わりますが引き続き使用できるのでしょうか。
事務局 (菊池主査)	御質問ありがとうございます。既に発行している回数乗車券につきましては、引き続き利用できるようにしたいと考えております。 また、4月から新しい運行事業者様に変更になりますので、4月から新しい回収乗車券についても発行し、随時更新をさせていただければと考えております。
議 長	その他御質問ありますでしょうか。それでは、私から御質問させていただきます。乗継券はどのように発行し、どう使うのでしょうか。
事務局 (菊池主査)	御質問ありがとうございます。こちらにつきましては、例えば、デマンドバスで本庄駅まで行き、本庄駅から「はにぼんシャトル」で本庄早稲田駅まで行く場合には、デマンドバスで運賃を支払う時に「乗継券をください。」と申し出てくださいと、ドライバーから乗継券をいただくことができます。そちらをはにぼんシャトルを利用する際に提示していただく乗継割引が受けられる制度になっております。 はにぼん号、はにぼんシャトルだけでなく、朝日自動車様の路線バスとの接続がフィーダーの要件となっておりますので、こちらの乗継券も別途ございます。
議 長	乗継券を受け取った時に、次の乗車で割引がされる説明があるということでしょうか。
事務局 (菊池主査)	車内での案内もありますし、事前に公共交通ガイド等で利用については周知を凶っているところでございます。 また、乗継券の利用は当日限りとさせていただいておりますので、ドライバーに日付を記入していただいております。
議 長	その他御質問等ありますでしょうか。 特に御質問、御意見が無いようですので、議事(2)については、決することに御異議ございませんか。
全委員	(異議なし)
議 長	それでは、続きまして、議事(3)「令和6年度地域内フィーダー系統補助金交付申請」について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (菊池主査)	議事(3)「令和6年度地域内フィーダー系統補助金交付申請について」御説明いたします。 参考資料をご覧ください。 これまでは、フィーダー系統の計画について交通政策協議会で御承認をいただいた後、各運行事業者様から11月末までに国に補助金を申請していただく流れでございました。 今年度からは、地域公共交通計画を交通政策協議会として策定したことに伴い、交通政策協議会で申請する流れに変更になりましたので、御説明させていただくものでございます。 本日お配りした参考資料につきましては、昨年度、国から通知があっ

た資料でございます。そのため、「令和5年度地域内フィーダー系統補助金交付申請に係る提出資料について」と記載があり、提出期限も令和5年11月30日となっております。

こちらにつきましては、例年、11月になりましたら関東運輸局から11月末までに補助金の申請をするよう案内があるものになります。

中段を見ていただきますと、「申請書」と記載があり、全申請者共通の様式1-8（表紙）、また、星印のところがございますが、1つ目の「路線型運行」は本市でいうシャトルバスであり、2つ目の「区域型運行」は本市でいうデマンドバスです。それぞれ、様式1-8、様式1-5を提出する必要があります。その他「添付書類」につきましては、記載のあるとおりでございます。

次に2ページをご覧ください。

2ページ下段「3. 活性化法定協議会を補助対象事業者とする場合における取扱いについて」でございます。

こちらにつきましては、先程御説明させていただきました本庄市交通政策協議会が法定協議会にあたります。4ページに交付申請書の様式1-8を添付しております。こちらに全事業者の合計額、本庄市につきましては、デマンドバス及びシャトルバスのそれぞれの申請額の合計を記入し、今年度申請させていただくものになります。

また、交付申請書以外の書類につきましては、「事業者毎に分けること」とされておりますので、今年の11月末までに朝日自動車様と本庄観光様に書類を作成していただき、事務局で取りまとめの上、国へ提出させていただく流れになります。

今年度の具体的な金額につきましては、現在、運行事業者様に取りまとめをしていただいているところがございますので、本日御提示することはできませんが、10ページから昨年度の朝日自動車様の資料を添付させていただいております。こちらにつきましては、4つのエリアの計画運行回数、輸送人員などを記入するものでございます。11ページにつきましては、エリア毎の実績運行回数、運行割合等から国庫補助金の申請額が算定される様式となっております。

続いて、13ページからが本庄観光様が運行しております「はにぼんシャトル」の様式となっております。

こちらにつきましては、路線定期運行といたしまして、本庄駅南口から本庄早稲田駅北口の片道約3キロを往復で毎日運行していただいておりますので、365日を掛けて計画運行回数を算出をしております。「実車走行キロ」につきましてもこちらに記載のあるとおりでございます。

14ページをご覧ください。こちらにつきましても、本庄観光様から提供がありました昨年度の資料になります。

なお、一番上にあります損益状況等につきましては、運行事業者様の情報になりますので、マスキングをさせていただいた上でホームページで公開させていただきたいと考えております。

今年度から、本庄市交通政策協議会としてデマンドバス及びシャトルバスの運行の補助金申請をさせていただきたく委員の皆さまの御承

	<p>認をいただきたいと考えております。 説明については以上です。 御審議よろしくお願ひいたします。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。ただいまの内容について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。 質問等がございませんので、議事（3）「令和6年度地域内フィーダー系統補助金交付申請」について、委員の皆さまにお諮りいたします。 議事（3）について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。</p>
全委員	（異議なし）
議 長	<p>議事（3）については、異議なしと認め、原案のとおり承認されました。令和6年度の申請については、運行事業者様に作成していただいた書類を事務局にて取りまとめの上、11月末までに国へ提出することといたします。 以上で、会議の全ての議事を終了させていただきますが、まだ少し時間がありますので、全体を通して御質問等あればお受けいたします。</p>
原田委員	<p>先程、議決した内容で大変恐縮ではございますが、7ページの公共交通の収支率のところ、現状値としてデマンドバス5.8%、シャトルバス18.1%となっており、令和5年度以降は現状値以上と設定していただいているのは良いのですが、目標設定の考え方のところ「人件費、燃料費、車両管理費などの運行経費の増加も想定されることから、現状より低下させないことを目標値とします」とあり、利用者を増やし運賃収入がコストよりも上回れば、収支率は上がると思うのですが、収支率を上げる戦略や工夫があれば教えていただけますでしょうか。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>御質問ありがとうございます。こちらにつきましては、新しい運行事業者様を選定する際にもこれらの目標値については、数値目標の達成に向けた取組をするよう努力義務を設けております。 事務局としましては、システムを導入することにより乗合率を上げていくことや、利用者が増えないと運賃収入が上がりませんので、これから行われるマリーゴールドの丘イルミネーション開催中に車両にマグネットを張り、利用促進をしていくこと等を考えております。 また、運行事業者様におかれましては、外部から広告を取るなど、タクシー事業者様のノウハウがあると思われまますので、新しい運行事業者様との定期的な打合せで協議しながら進めて参りたいと考えております。</p>
原田委員	<p>ありがとうございます。また、6ページの利用者数については、先程の収支率を上げる戦略等のプラスの要因は加味しているのでしょうか。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>こちらにつきましては、令和3年度の実績値から毎年1%増加していくという仮定で令和9年度の目標値を設定しております。運行事業者様の変更後は、この目標値を更新していけるよう運行事業者様と協議して進めて参りたいと考えております。</p>
原田委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
議 長	<p>先程、回数券と乗継券の話が出ましたが、回数券と乗継券がどこでど</p>

	<p>のように使われているかが分かると、どこで需要があるかなどヒントになるかと思しますので、是非、協議会で御報告いただければと思います。</p> <p>また、車両のラッピングのところで、「はにぼん号」と「はにぼんシャトル」の識別ができていますでしょうか。一見しただけではどちらがどちらか分からないと思います。これらを含め利用促進に繋げていただきたいと思います。</p> <p>以上で、会議の全ての議事を終了させていただきます。</p> <p>委員の皆さまの御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局へお返しします。</p>
<p>事務局 (都市計画課長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、本市の交通政策につきまして、引き続き御支援、御協力をお願い申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第4回本庄市交通政策協議会を閉会とさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、出席を賜りまして、誠にありがとうございました。</p>